

はじまりの
名護屋城

名護屋城の逸話や茶の湯の魅力について
歴史や文化芸術に詳しい佐賀新聞社中尾社長に聞きました。

第三回

「民衆もとりこにした
茶会の魅力」

秀吉の愛した茶の湯は
大名たちの社交場

安土桃山の時代、茶会は大名たちの社交の場でした。正式な茶事は数時間以上かけてゆっくり行うもの。親しくなりたい者同士が少人数で集まって長時間ともに過ごし、お互いの人格や知識教養を知り、理解を深めていくのです。今で言うゴルフ交流のようなものかもしれませんね。

茶の湯の大成者といえは千利休ですが、残念なことに、朝鮮出兵の前に秀吉は利休と仲たがいし、自害させています。しかし、利休のわび茶をもっとも理解していたのも、社交に最大限に活用したのも、秀吉でした。

天下人も庶民も
茶室の中では平等です

「茶の湯を楽しんでみたい」という一般庶民も自由に参加できるように、京で北野大茶会を催したのも秀吉です。茶室の狭い空間では、天下人も庶民も身分の分け隔てなく隣り合って座ります。この茶室の中の平等こそ、多くの人々が茶の湯に魅せられた理由でしょう。

3月27日に行われる「名護屋城大茶会」は、天下人の気宇壮大さを知り、歴史ロマンに思いをはせる絶好の機会となるでしょう。豪華絢爛たる黄金の茶室と、わび、さびの極致であるシンプルな草庵茶室が同時に再現されるのも楽しみです。このワクワク感も、はじまりの名護屋城。



佐賀新聞社社長
中尾清一郎

はじまりの地 今、ふたたび。
名護屋城大茶会

日時 令和4年 3月27日 10:00~17:00

会場 肥前名護屋城跡及び名護屋城博物館、茶苑海月ほか
(佐賀県立名護屋城博物館:佐賀県唐津市鎮西町名護屋1931-3)

ステージイベント



- 長谷川理恵さん
スペシャルトーク&WabiYoga
- 講談/神田山緑
- 篠笛演奏/佐藤和哉
- 能楽実演/井内政徳
- 薩摩琵琶演奏/北原香菜子
- 鷹匠実演/石橋美里

再現茶会



秀吉が名護屋城で楽しんだもう一つの茶室「草庵茶室」がステージに登場

同日 13:00公開スタート

よみがえる黄金の茶室



豊臣秀吉が名護屋城で使った「黄金の茶室」を再現。

名護屋城博物館
2階常設展示室

県内茶道団体による呈茶席

※有料 ※茶席の当日受付は15時まで

名護屋城マルシェ

美味しいグルメやかわいい雑貨が大集合



佐賀県
佐賀県 文化課
TEL.0952-25-7236

はじまりの
名護屋城。

The Beginning of New Cultural Tourism from SAGA

詳しくはコチラ

